

## 入院診療計画書

病棟：

診断名：肝細胞癌（経皮的ラジオ波焼灼療法）ver.1

年月日

様

特別な栄養管理の必要性：有・無

推定される入院期間：4～7日間

主治医：

担当看護師：

患者様サイン欄：

ご家族サイン欄：

	1日目	2日目 <input type="checkbox"/> 治療当日	3日目 <input type="checkbox"/> 治療当日	4日目	5日目	6日目	7日目
達成目標	治療について理解することができる	合併症が出現することなく過ごすことができる 治療後、安静度を守ることができます	合併症が出現することなく過ごすことができる	治療後の生活の留意点について理解することができます			
安静度 リハビリ 退院	・病院内を自由に歩くことができます。	・治療までは病院内を自由に歩くことができます。 ・治療後は少なくとも5時間はベッドに寝たまま、仰向けで安静にしてください。 ・治療翌日から病院内を自由に歩くことができます。	・病院内を自由に歩くことができます。	<input type="checkbox"/> 医師の指示により午前中に退院できます。	<input type="checkbox"/> 医師の指示により午前中に退院できます。	<input type="checkbox"/> 医師の指示により午前中に退院できます。	
食事	・常食又は肝臓食が摂れます。 	●検査当日は、 ・朝食後から飲んだり食べたりできません。 ・夕食から常食又は肝臓病食が摂れます。					
注射・薬剤		点滴を昼から行います。	朝・夕に抗生剤の点滴を行います。				
検査			ラジオ波焼灼術施行した翌日および2～3日後に採血があります。				
処置		・( )月( )日の午後よりラジオ波焼灼術を行います。					
清潔 (シャワー・入浴など)	・入浴できます	・治療前までは入浴はできます。 ・治療後は入浴はできません。	・入浴はできません。	・治療後3日目から発熱がなければ入浴できます。			
排泄	・歩いてトイレに行くことができます。	・治療後ベッドに寝たままの時のみ、ベッド上排泄になります。 ・治療翌日から歩いてトイレに行くことができます。					
患者様及び ご家族への説明	・医師が入院中の検査、治療全般についての説明をします。 ・看護師が入院後の生活・治療について説明します。	・痛みはある場合は痛み止めを使用することが出来ます。 我慢せず看護師にお伝え下さい。		・医師が退院について説明します。 ・看護師が退院後について説明します。 ・退院後2週間は激しい運動を控えて下さい。			

注1) 病名及び治療内容等は、入院時に考えられるものですので、検査・治療を進めていくにしたがい変更することがあります。

板橋中央総合病院

注2) 入院期間、表記の日時については入院時の予定です。